



一斉法要のご報告

〔平成二十九年〕

○新年祈禱会

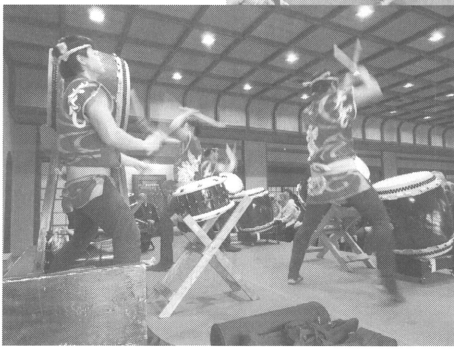
今年の善光寺は、和太鼓の勇壮なリズムでスタート。テレビや舞台演劇、セッションライブなどで国内外を問わずに活躍のプロ和太鼓チーム「大元組」による演奏。

人が太鼓のリズムに胸が高まり、また安らぎを感じるのには、その音が「生まれる前に聞いた母親の心臓の音に似ているから」といいます。生命の始まり、生きる喜びを感じさせる和太鼓から始まる新年の幕開けに、お檀家の皆様も心弾ませ、その力強さと表現力に魅了されていました。

続いては昨年に引き続き、川島囃子保存会に

ニ ュ ー ス ・ ア ラ カ ル ト

よる獅子舞。躍動感の中に垣間見える愛嬌ある姿で、私達の心の邪気も晴れ晴れと払ってくださいました。



○節分折漕会

節分追儺会のご折漕後には、昨年の大変好評につき今年もアンコールした幫間芸の悠玄亭玉八師匠。ご参加いただいた方々もお腹を抱えて笑っており、冬の寒さを吹き飛ばし、善光寺に福が来しました。

引き続きでは、地響きのような太鼓が打ち鳴らされ「大元組」の演奏が始まり、新年に引き続きの奉納演奏でしたが、何度聞いてもそのすさまじい迫力に心が踊りだしました。

興奮冷めやまぬ内に、最後は恒例の豆蒔きで締めくくり。住職を筆頭に大元組も一緒に檀家さんと共に声高らかに「シャン、シャン、シャン、オシヤシヤのシャン」といつもの掛け声。賑やかな節分追儺会となりました。

— ニュース・アラカルト —

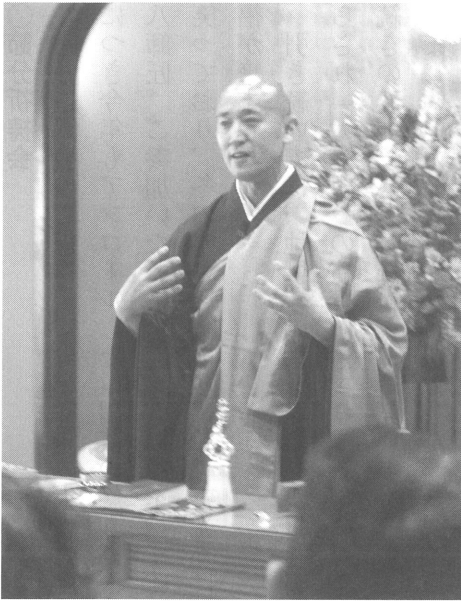


○春彼岸法会

法話 曹洞宗梅花流特派師範

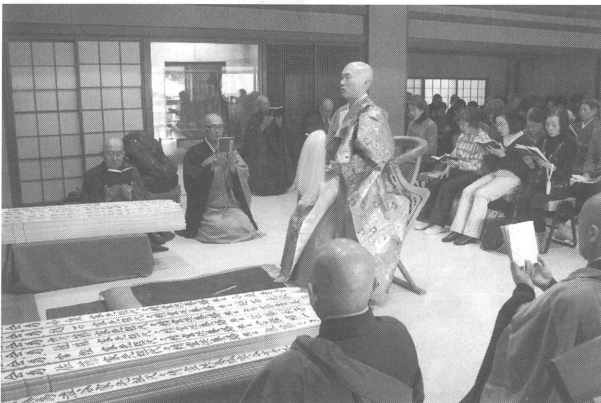
渡邊清徳老師

今年からはじまった御詠歌教室。心やすらぐ御詠歌に親しんでもらいたいと講師の渡邊清徳老師にお話を頂きました。発声練習から始まって、皆さまと一緒にお唱え頂きました。



「まごころに生きる」と「三宝御和讃」をお唱えしながら、穏やかなリズムと共に仏さまの教えが心に浸透していく時間でした。

(渡邊師の法話は54ページをご覧ください)



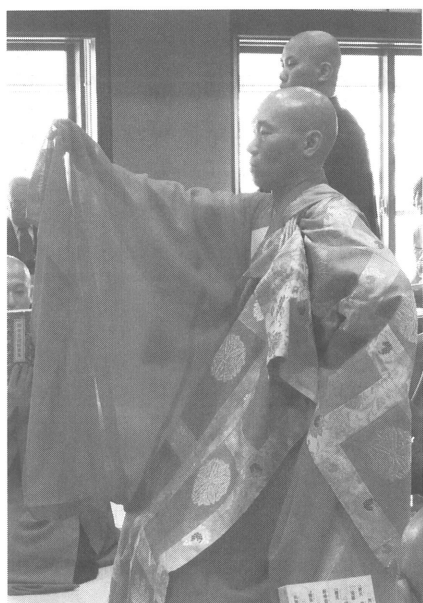
○孟蘭盆施食会

法話 曹洞宗梅花流特派師範

渡邊清徳老師

春彼岸に続き渡邊清徳師に御詠歌の指導とご法話を頂戴致しました。

孟蘭盆会では「追善供養御和讃」と「まごころに生きる」のお唱えを中心にご指導頂きました。「追善」という言葉の意味合いを含め、御



先祖様に思いをはせるこのお盆の期間をどのように過ごしたらよいか、丁寧に分かりやすくお話をいただきました。改めて日常の中で無常を觀じ、他が為に心を運んでいくことの大切さを学びました。



○秋彼岸法会

法話 大本山永平寺別院長谷寺知客

山梨長泉寺住職 水庭浩章老師

「人間は、そのまま完全である。しかしそのままではいられる人など一人もない。」という言葉を冒頭に示され、「そのままであることのできない一人」である自分自身の葛藤と気づきをテーマに分かりやすい法話を頂戴いたしました。

私達の無意識の中にある自己中心的部分（末那識）と、経験をもとに蓄積された先入観（阿頼耶識）を改めて見つめ直し、その不完全な自分を自覚しながら八正道に身を投じていくことの大切さ、またその姿そのものが完全であるという仏道修行の根幹に迫る内容で、自らを見つめ直す機会をいただくことができました。

（水庭師の法話は70ページをご覧ください）

— ニュース・アラカルト —

八月末より住職が無言の行。声帯を痛めて発声を控えるようにとの事。秋彼岸法要は副住職導師にて執り行われました。

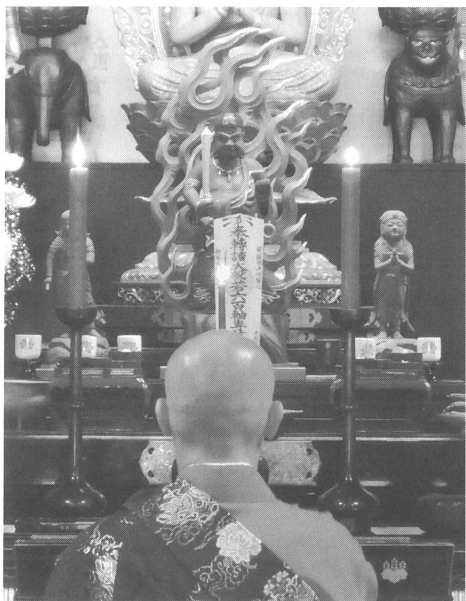
住職曰く「当たり前のように思っていたことが当たり前ではなかったことに気付かされ、健康の有り難さを痛感しております。この体験も仏さまから与えられたものとして受け止め、今、出来る事を日々精進して参ります」と。

実は先代様も声帯を痛めた時期がありました。そこまで先代様の真似をしなくてもよいのにとの声も……。早く治してまた一緒にお経をお唱えしますと仰っております。



○身代り不動明王大祭 五月二十八日

昨年に引き続き米陀麻美さんによるフルート、そして今年は楽友、亀井美好さんによるハーブとのコラボレーションでの奉納演奏。「楽器の王様」と表現されるフルートの音色と、ヒーリング音楽などにも使われるハーブの響きが参加者の心を癒やしてくれました。



— ニュース・アラカルト —

「ハナミズキ」愛の讃歌「川の流れるように」など、ポピュラーな曲も織り交ぜながら、フルート奏者の中では特に大切にされている楽曲「歌の翼による幻想曲」なども演奏して下さいました。アンコールでは善光寺の定番「マイウェイ」を演奏。先代方丈様が好まれたマイウェイの調べが不動殿に響きわたり大祭に彩りが増しました。





欽ちゃんの右が黒田敬仁さん

— ニュース・アラカルト —

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● 熊谷豊太郎氏百寿

善光寺の筆頭総代熊谷豊太郎氏が、六月七日に満百歳の誕生日を迎えました。百歳のお祝いは、百寿とも一世紀を生きたとして『紀寿』とも呼ばれます。大正、昭和、平成の三世代を生き抜いた溢れ出す強い生命力。七月には山内一同の暑氣払いに併せお祝い致しました。

熊谷氏の益々のご健勝を祈念申し上げます。



山口義男氏が護持会会長に

山口氏は善光寺開創前からの先代住職のご友人で、昨年迄長く青年会会長をお務め頂いておりました。この度前任の國廣敏郎氏の退任を受け山口氏が善光寺護持会会長に就任しました。

「私はどちらかというところ『五時ごじ（から）快調かいちょう』をモットーにしていました……」と笑う山口氏。一斉法要では経本を配ったり椅子を出したりと色々とお手伝いを頂いております。

また旅行にも毎回参加頂き盛り上げて頂いております。明るいご性格で「これからも皆さんと一緒に和やかに善光寺を盛り上げていきたい」と抱負を語られております。今後共よろしくお願い申し上げます。

ニュース・アラカルト

震災義捐金の御礼

今年も皆さまよりお納め頂いた尊い浄財、護持会費の一部を四月十七日、國廣護持会会長と共に神奈川県新聞厚生文化事業団を訪れ日本赤十字社へ寄付を致しました。



●●●●●●●●●●●●●●●●●● 青年会報告

十一月十二日、青年会新会長鳥居悟氏が中心となりバーベキュー大会が開催されました。当日は秋晴れの心地よい日差しの中、お寺のご近所の方々にも声をかけて大勢の皆様にご参加いただきました。B B Q 以外にも豚汁や焼き鳥などバラエティに富んだ品の数々に参加された方々もお腹いっぱい。笑顔いっぱい。とても喜んでいただきました。

鳥居会長は「新しい青年会の企画を皆様のご協力によりスタートできましたことをまずもって感謝申し上げます。今後も皆様に喜んでいただける催しを企画していきますので皆様お誘い合わせの上たくさんの方々に参加いただければと思います」と、これからの意気込みを語って下さいました。

— ニューズ・アラカルト —



右より、博志住職、山口総代、鳥居会長、田村さん
佐藤さん（佐藤薫工務店）

朝いち禅開催

今年一月より「朝いち禅」を開催しています。月曜日から金曜日の平日午前六時半から一時間、僧侶とともに坐禅と読経を行います。参加者の中には、「生活の一部です」と仰る方もいて、ともに修行する仲間が増えていくことに喜びを感じます。初めての方もご指導致します。お気軽にお越しください。

戸澤洋太師住職を拝命

博志住職の弟子、戸澤洋太師が今年一月、千葉県富津市天祐寺の住職に拝命されました。

在家出身の戸澤師は善光寺の早朝坐禅会に三年間通い、機熟して平成十九年に黒田博志住職

ニュー・アラカルト

の弟子となり出家。加賀大乘寺にて東隆眞老師のもと三年余り修行され現在は善光寺にて共に修行しています。戸澤師の今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

